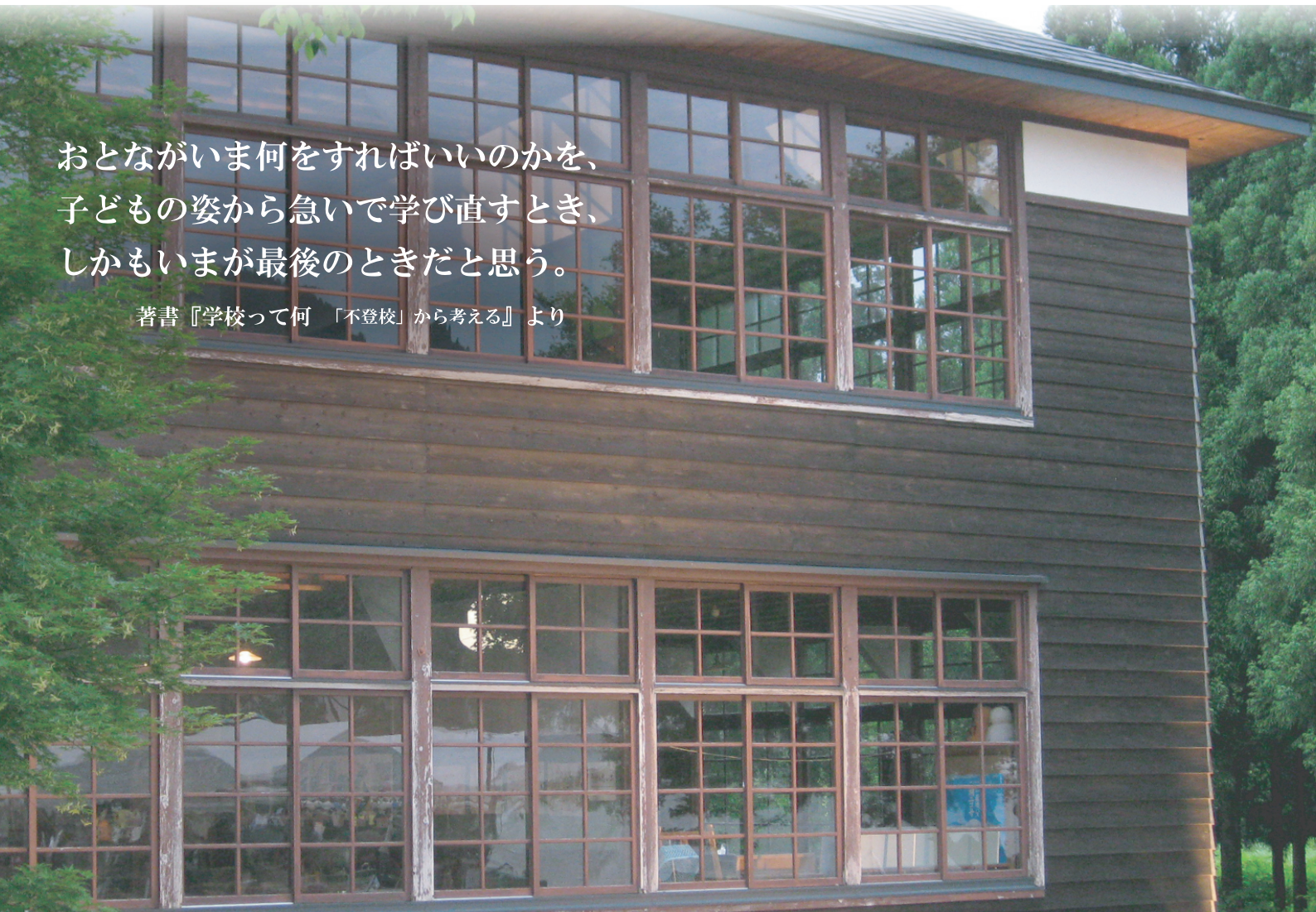


小沢牧子さん講演会

いま子どもたちのいるところ — 道さぐるこの時代に —

おとながいま何をすればいいのかを、
子どもの姿から急いで学び直すとき、
しかもいまが最後のときだと思う。

著書『学校って何 「不登校」から考える』より



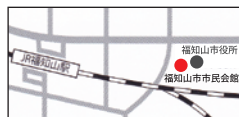
日時

2013年4月20日(土)

午後1時30分開場 / 午後2時開演

会場

福知山市市民会館4階ホール
(福知山市字内記100)



参加費

前売り：500円 / 当日：700円
(参加協力チケット)

取扱所

まいまい堂(福知山市) / 道下工務店(福知山市)
NPO法人おひさまと風の子さろん(福知山市)
小山書店(篠山市) / 有限会社ナミエ書店(与謝野町)

- 【主催】 小沢牧子さん講演会実行委員会
(丹波昔ばなし大学実行委員会 / 丹波昔ばなし大学実行委員会 / 福知山語りの会)
- 【後援】 福知山市 / 福知山市教育委員会
- 【お問合せ】 丹波昔ばなし大学実行委員会 (TEL&FAX 0772-28-0364)

● 小沢牧子さんプロフィール

1937年北海道生まれ。慶応義塾大学、国立精神衛生研究所(旧)で心理学を学び、いくつかの教育相談の職場で相談の仕事にたずさわるなかで、心理学の理論と実践に疑問を抱く。その後臨床心理学の点検と批判、子ども・学校問題を中心に、和光大学、千葉県立衛生短期大学、文化学院専攻科での非常勤講師、国民教育文化総合研究所の運営・研究委員、社会臨床学会運営委員をつとめた。現在、フリーの立場で、現代社会における心理学の役割を問い直し、子ども・学校問題を考察する仕事をつづけている。

おもな著書に『心理学は子どもの味方か?』(古今社)、『子どもの権利・親の権利』(日外教養選書)、『「心の専門家」はいらない』(洋泉社新書)、『心の時代と教育』(青土社)、『子どもの場所から』(小澤昔ばなし研究所)、『心を商品化する社会』(中島浩壽氏と共著・洋泉社新書)、『学校という場では人はどう生きているのか』(浜田寿美男氏・佐々木賢氏と共編者・北大路書房)、『学校って何 「不登校」から考える』(小澤昔ばなし研究所)ほかがある。